

作成日：西暦 2024 年 4 月 15 日

変更日：西暦 2024 年 11 月 13 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：ニューロモデレーション治療の有用性：カルテ調査研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

電子カルテ内で調査できる一番古い日から 2029 年 3 月 31 日までの間に、藤田医科大学病院で修正型電気けいれん療法（ECT）や反復経頭蓋磁気刺激（rTMS）を用いた治療を受けたことがある精神疾患の方

2. 研究目的・方法・研究期間

実臨床における ECT や rTMS の精神障害を有する患者さんに対する有用性を、患者さんのカルテから得られる臨床情報により検討します。

研究期間は、倫理審査委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ内で調査できる一番古い日から 2029 年 3 月 31 日までの間に、藤田医科大学病院で ECT や rTMS 治療を受けたことがある精神障害を有する患者のカルテ情報から、患者さんの年齢、性別、検査結果（尿検査、血液検査、胸部レントゲン、心電図、頭部画像検査、脳波など）、病型、治療歴、治療経過などを調査させていただきます。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

研究責任者は、藤田医科大学 医学部精神神経科学 臨床教授 岸太郎です。

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先

までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者（藤田医科大学 医学部精神神経科 臨床教授 岸太郎）が説明する。

Tel: 0562-93-9250

Fax: 0562-93-1831

E-Mail: tarok@fujita-hu.ac.jp

試料・情報の管理について責任を有する者および研究機関の長
藤田医科大学 学長

7. 利益相反

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。